

2017年6月3日(土)

福島原発事故 - 政府・東電・マスコミは健康被害を隠蔽している

講座no.462



わたなべ えつじ

講師：渡辺悦司さん

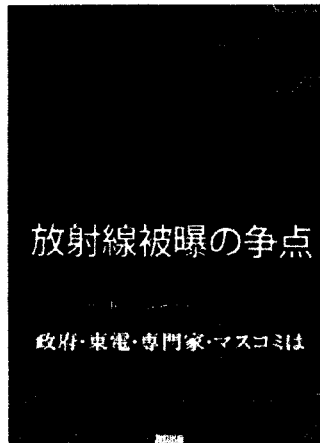
市民と科学者の内部被曝問題研究会会員、
政治経済学・経済史学会会員

著書：「放射線被曝の争点」

- 福島原発事故の健康被害はないのか
(渡辺悦司、遠藤順子、山田耕作 共著)

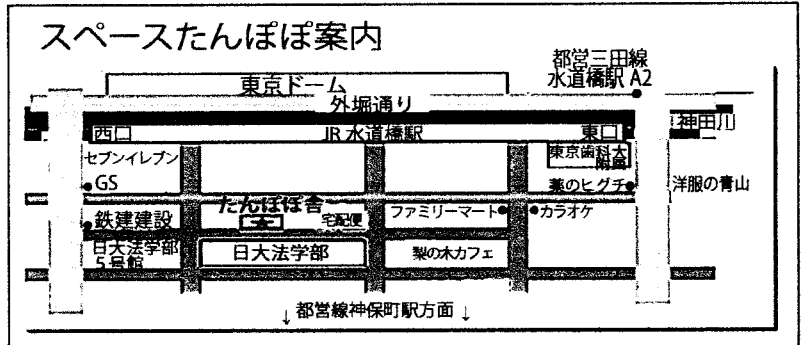
緑風出版

本の通販ストア、amazon 等にて発売中



13:30 開場
14:00~16:30
スペースたんぼぼ

共催：脱被ばく実現ネット / たんぼぼ舎
会場：スペースたんぼぼ
参加費(資料代含む)：800円(学生400円)
会場：たんぼぼ舎のあるダイナミックビルの4階
JR 水道橋駅西口から5分
東京都千代田区三崎町 2-6-2
tel 03-3238-9035



福島原発事故から6年。甲状腺がんをはじめ放射線による様々な健康被害が拡大している。だが、政府・専門家・電力会社・マスコミは被害を隠蔽し「被曝安心安全」神話を広めている。年間20ミリシーベルトの危険な汚染地域に住民を帰還させようとしている。チェルノブイリ事故後と同様に、被曝の健康被害を全否定する宣伝が、国際原子力カトリックとの連携の下に展開されている。

だが、そのような被害ゼロ論は、過小評価が明らかな国際放射線防護委員会(ICRP)のリスク評価にさえ反する虚偽主張である。事故の放射能による汚染は、福島県やその周辺地域にとどまらない。首都圏が極めて深刻で危険な汚染状況にある。東京の放射線汚染は、多くの地点において、チェルノブイリであれば十分「避難の権利」が与えられる水準(1~5ミリシーベルト/年)なのだ。

花粉マスクに付着した放射性微粒子の画像
(東京大学本郷キャンパスにて)



2011年3月15日東京大学本郷キャンパスにて撮影

たんぼぼ舎
Tel 03-3238-9035 Fax 03-3238-0797
Email: nonukes@tanpoposya.net
URL: <http://www.tanpoposya.com/>

脱被ばく実現ネット
090-8494-3856(岡田) ブログ <http://fukushima-sokai.blogspot.jp>
フェイスブック <https://www.facebook.com/fukushimasokai>
ツイッター <https://twitter.com/Fsokai> E-mail: nijisaiban@gmail.com